

2006 年度

科目名 美術史学実習 I	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 吉原 忠雄
授業テーマ 美術史学専攻希望学生が、美術作品の鑑賞方法と調査方法を習得する。		
授業の概要と目標 授業を通じて、また美術品の直接鑑賞を通じて、美術作品に関する情報の収集やフィールド・ノートを作成を行い、より深く美術作品を理解して、研究の見通しをたてられるようにする。 授業のほか、博物館などでの学外実習を年数回ほど実施するが、これに参加しないと、履修とみとめられない。		
評価方法 出席と提出物により評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1) 学内 ①資料の取り扱い方 (2) 掛け軸 巻物 工芸品 彫刻 ②調査 (1) 準備 記録のとり方 法量の測り方 ③撮影 (2) 準備 カメラなどの扱い方 撮影実習 (2) 学外 (交通費・昼食代などは実費が必要) ① 調査 土曜日 5 人×5 日 (1 日分) 和泉市内寺院 ② 見学会— i 京都国立博物館・三十三間堂 (1 日分) ii 奈良国立博物館・東大寺 (1 日分)		